在宅ホスピス歴 25 年の専門医が生と死について語ります

死を看取るために家族に必要なこと

— 死をどのようにとらえ、受けとめたらよいのか —

苦しみながら死を迎えるのではないかと不安に感じているかた、
愛するものが生きそして死んでいくことのイメージがわからないかた、
食べられなくなったらどうすればよいのか 悩んでいる家族のかた、
自分たちの手で何とかしたいと考えているかたへ

第2回 11月14日 火

死を看取るために家族に必要なこと

愛する家族が死んでいくときに
家族はどうあればよいのでしょうか？

講師 川越 厚氏

手話通訳有り
参加無料

第2回 11/14 火
お申し込み
先着 100 名様

2017年
11月14日(火)
14:00 ~ 16:00(開場13:30)

**北とぴあ14階
スカイホール**
(北区王子駅前)

※ご来館の際は、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関を
ご利用下さいますよう、ご協力をお願いいたします。

FAX裏面の申込書にて
03-5961-9712

プロフィール

1947年 山口県山口市生まれ。
1966年 私立広島学院高校卒業。
1973年 東京大学医学部卒業。
茨城県立中央病院産婦人科医長、
東京大学講師、
白十字診療所在宅ホスピス部長を経て、
1994年より6年間、賛育会病院長を務め、退職。
2000年6月、自らのクリニックを開業すると同時に、
在宅ケア支援グループ・パリアンを設立。
2010年 第6回ヘルシー・ソサエティ賞受賞
2014年11月、NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」出演

お問合せ先 公益財団法人 愛恵福祉支援財団 事務局

〒114-0015 東京都北区中里2-6-1 HP: www.aikei-fukushi.org/

申込先 Tel: 03-5961-9711 FAX 03-5961-9712

Mail: loveandgrace@aikei-wf.or.jp